

49th

令和4年度1月号 [1月17日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



岸川中だより

川口市立岸川中学校
川口市安行領根岸374番地の1
TEL268-4506 FAX268-4761
特別支援学級 TEL268-7110
さわやか相談室TEL268-4510
<https://kishikawa.official.jp>

「誇りあれ」 ～50周年を迎える年に想う～

校長 松田 隆幸

新年明けましておめでとうございます。2023年 岸川中学校は、創立から50年目の記念すべき年となりました。地域の皆様に愛され、地域の誇りになれるよう。次の50年に向けての良いスタートになるように教職員一同 学校を挙げて、頑張り抜く所存です。本年も変わらぬご厚意を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ちなみに、「誇りあれ」は記念誌のタイトルです。30周年記念誌のタイトルが校歌の3番に出てくる「光あれ」今回のタイトルは、2番に出てくる「誇りあれ」を採用したという次第です。

さて、現在50周年記念誌を作っております。前回の記念誌は、30周年誌でした。今回の記念誌をつくるにあたって、毎日のように読み返しておりますが、当時の制作のご苦労が伝わってきます。その頃は、学校や家庭にもコンピュータが一気に浸透し始め、ウィンドウズXPなるものが前年に発売されていた頃です。10周年・20周年誌作成の頃とは違い、原稿の改修や写真等の送付も便利になった頃だったのではないかと思います。それでも、記念誌制作には多くの方々の協力なしにはできなかった形跡が、今も校長室に資料として残っています。地域の皆さんと、学校とのかかわり方や両者の距離感が今とはずいぶん違うことが見て取れます。何度も集まり、編集会議を開き、作業を進めたその形跡を今ではなぞることが難しい環境となりました。それほどの速さで、家庭が、学校が、社会全体、世の中が、大きく変化したということだと思えます。30周年記念の2002年は、携帯電話の世界では前の年に今では懐かしいFOMAが登場し、2002年に番号として080が新たに追加された年でもあります。そして、今では、ケイタイではなくスマホの時代。中学生諸君はiモードという言葉も知らないでしょう。この変化の速さは、教育界でさらに加速しています。世界的に出遅れてしまったICTの活用。人材不足を穴埋めするプログラマーの育成など、デジタル戦略は今後ますます学校現場で加速していくものと思われれます。ではなく、必ずや加速していきます。

変化の速さへ対応するために、人は何かを失ったことがあったのではないかと思う時があります。その一つが「寛容さ」。すぐに答えを求められる・正解だけが求められる・間違いややり直しをさせてもらえない。そんな速さと自己責任だけを追い求められる世であるが故に、「寛容さ」を失った時があったかもしれないと思う時があります。しかし、それでも止まってはくれない世の流れに対応するためには、我々も変わるころは変わる。追いつくところは追いついて行かなくてはなりません。先生方も苦労しています。時間を生み出し、生徒へ向き合う時間を創るためにも、研修ビデオは倍速視聴(ちゃんと学んでいます)。変化への対応をアナログな方法でしか解決策がない学校の大きな弱みですが、近いうちに学校もDX戦略でまたまた大きく変わるそうでありませう。

先人のご苦労に敬意を払いつつ、50年の歴史を顧み、失ってはならないものをこれまでの先生方や地域の方々からのメッセージに学び、寛容さを忘れず、時代の先を走る尖った学校として、これからの社会にアジャストした新しい岸川の新たな最初の一步を力強く踏み出したいと考えています。年末の増刊号にも書きましたが、「先生！分かりません！」を言える学校であり、一人一人の課題に応じることができる岸川であり、一つでも多くの失敗を在学中に経験できる学校でありたいと年のはじめに想うところでもあります。うちでは絶対に許してもらえない私は心からそう願うのであります。

令和5年岸川中学校は創立50周年
2023 Kishikawa.J.H.S 50th ANNIVERSARY